

				部会名	暮らし
施策No.	2-5-2	施策名	高齢者福祉の充実	施策主管課	長寿福祉課
■内部評価について					
①成果指標について	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標の項目は、施策の目指す姿に沿っているか →沿っている。 ・目標値の設定は、適切か →適切である。 ・他に考えられる指標はないか →「生きがいを持って暮らしている高齢者の割合」について、高齢者でも後期高齢者になるとその割合が違ってくのではないかと。高齢者と後期高齢者それぞれの生きがいの創出のため、成果指標の測定企画を、65歳から74歳までと、75歳以上に分けた方が良いのではないかと。 ・成果指標の経年推移についての確かな分析を行っているか →行っている。 				
②施策を構成する事務事業について	<ul style="list-style-type: none"> ・施策を構成する事務事業は相対的に必要十分で過不足のないものになっているか →認知症の対応に関する事業を明確に起こすように整理できれば良いのではないかと。 ・目指す姿の実現に貢献している事業か(貢献度の評価・判断理由は適切か) →妥当である。 ・市民ニーズや社会情勢の変化により、市の関与の必要性が低下した事業はないか →特になし。 ・施策の目指す姿を実現するために、さらに成果の向上を図る事業はないか →特になし。 ・他に考えられる事業はないか →特になし。 				
③施策の総合的な評価	<ul style="list-style-type: none"> ・施策の主な取り組み成果や成果指標の推移、施策を構成する事務事業の検証等を踏まえ、施策の目指す姿を実現するための問題点・課題が明確になっているか →在宅療養の充実を図ることについて、課題に盛り込んでどうか。 行政がリーダーシップを取り、医療・介護・福祉・地域のネットワークの充実を図る取り組みを課題として盛り込んでどうか。 				
④シート記載内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・施策の取り組み実績や、事業内容等、わかりやすい記載内容となっているか →事務事業一覧の実績数値について、対象者数の分母の記載があれば評価の判断ができる。評価しやすいような研究・整理をしてほしい。 				